

謹賀新年



平成29年 年頭のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、夢と希望に満ちあふれた輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は、4月に熊本地震、10月に鳥取地震など、私たちの予想を超える自然災害が多発した年でした。この災害を「自分事」として捉え、防災意識をより強く持つとともに、緊急時の際、皆さまの生命と財産を守ることができている管理体制の確立に努めていかなければならないと、再認識したところです。

また、新たに、今後10年間、本市が実現すべき将来像とそのため基本的理念、具体的な取り組みを示した「行方市総合戦略書」を策定し、スタートさせた年でもありました。策定にあたっては、幅広い市民の皆さまに参画

いただき、議会、行政と一緒に議論を重ね、その「声」を反映させていく過程を重視し、地域の課題や目標の共有化を図りました。

本年は、この策定した計画をいかにして皆さまと共推進し、自発的な地域活動を活性化させていくかが重要なポイントになります。

そのためには、地域に「ひと」、「もの」、「財源（金）」、そして「情報」を循環させることが必須です。中でも、「ひと」は全てのことに関わりますので、「人材」の育成に力を入れ、皆さまが地域活動しやすい環境づくりを行ってまいります。

また、農業をはじめとする地域産業の活性化、皆さまが安心できる医療体制の構築、地域ぐるみの子育て支援・福祉環境の整備など、「暮らしやすさ」に主眼を置いた、真に必要な施策を展開

開してまいります。

これからの本市は「市民力」にかかっています。本市に「住みたい」「住み続けたい」となる、自助・公助による市民協働のまちづくりの一步を共に踏み出しましょう。

新春の年頭にあたり、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げて、新年のごあいさつといたします。



「市民力」で

日本一のまちづくりを

行方市長 鈴木 周也



笑顔で住み続けたいまち、なめがた

明けましておめでとうございませう。

市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

また、日ごろから市議会への深いご理解と議会活動に對しましてのご支援ご協力に、厚くお礼申し上げます。

本市の最重要課題として進めてきた教育環境の整備も、昨年の12月、北浦幼稚園の移設開園により、全ての幼稚園および小中学校の耐震化が図られました。

また、飲料水兼耐震性貯水槽の整備により、飲料水や食料備蓄など、災害時への備えも着々と進められております。

災害はいつやってくるかわかりませう。議会といたしましても、市民の皆さまが安心できる暮らしを守る

ため努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年8月に、市内3つの中学校から参加をいただき、中学生議会を開催いたしました。18名の中学生議員から、普段の生活で感じる疑問や市をより良くしていくための提案をいただきました。若い人たちの意見を、議会活動に生かしていきたいと考えております。

これまで、「議会だより」やホームページの会議録検索システムなどにより、議会に對するの情報を届けております。そして、いよいよ本年から、皆さまのご自宅のテレビで本会議をご覧いただけることとなります。また、インターネットにより本会議の録画映像もご覧いただけるよう進めております。

これを契機に、より一層

の議会活動へのご理解をいたたくとも、議会へのご意見等をいただきますようお願い申し上げます。

市民に開かれた議会を目指し、議会の機能強化と充実、運営の改善等を引き続き推進してまいりますので、市民の皆さまの一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして幸多い一年となりますことを心よりご祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。



市民の安心安全と 開かれた議会を目指して

行方市議会議長 鈴木 義浩